Syslog を使用した Cisco UCS Manager のモニタ

初版：2013 年 04 月 01 日

最終更新：2013 年 10 月 01 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

Text Part Number: OL-29326-01-J

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（**www.cisco.com/jp/go/safety_warning/**）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

© 2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

目 次

はじめに v

表記法 v

Cisco UCS の関連ドキュメント vii

マニュアルに関するフィードバック vii

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート vii

Syslog メッセージの概要 1

Syslog Messages 1

Cisco UCS Manager メッセージの重大度の用語とコード 2

Cisco UCS Manager障害の種類 3

Syslog メッセージの例と形式 5

Cisco UCS Manager 障害の Syslog メッセージ 6

Cisco UCS Manager イベントの Syslog メッセージ 7

Cisco UCS Manager 監査ログの Syslog メッセージ 7

Cisco UCS Manager の Syslog の設定 9

Syslog の設定 9

Cisco UCS Manager の GUI を使用した Syslog の設定 9

Cisco UCS Manager の CLI を使用した Syslog の設定 14

Cisco UCS Manager の Syslog メッセージのモニタリング 17

Syslog メッセージのモニタ 17

モニタのための Syslog メッセージ 17

はじめに

この前書きは、次の項で構成されています。

- 表記法，v ページ
- Cisco UCS の関連ドキュメント，vii ページ
- マニュアルに関するフィードバック，vii ページ
- マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート，vii ページ

表記法

テキストのタイプ	用途
GUI 要素	タブの見出し、領域名、フィールドのラベルのようなGUI要素は、[GUI 要素] のように示しています。 ウィンドウ、ダイアログボックス、ウィザードのタイトルのようなメイン タイトルは、[メイン タイトル] のように示しています。
マニュアルのタイトル	マニュアルのタイトルは、イタリック体（*italic*）で示しています。
TUI 要素	テキストベースのユーザ インターフェイスでは、システムによって表示されるテキストは、`courier` フォントで示しています。
システム出力	システムが表示するターミナル セッションおよび情報は、`courier` フォントで示しています。
CLI コマンド	CLI コマンドのキーワードは、ボールド体（**bold**）で示しています。 CLI コマンド内の変数は、イタリック体（*italic*）で示しています。
[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。

テキストのタイプ	用途
{x | y | z}	必ずいずれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x | y | z]	どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[ ]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符（!）またはポンド記号（#）がある場合には、コメント行であることを示します。

（注）　「注釈」です。 役立つ情報や、このドキュメント以外の参照資料などを紹介しています。

ヒント　「問題解決に役立つ情報」です。 ヒントには、トラブルシューティングや操作方法ではなく、ワンポイントアドバイスと同様に知っておくと役立つ情報が記述される場合もあります。

注意　「要注意」の意味です。 機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

ワンポイント アドバイス　時間を節約する方法です。 ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。

警告　安全上の重要事項

「危険」の意味です。 人身事故を予防するための注意事項が記述されています。 機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。 各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

Cisco UCS の関連ドキュメント

ドキュメント ロードマップ

すべての B シリーズ マニュアルの一覧については、http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc で入手できる『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

すべての C シリーズ マニュアルの一覧については、http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/c-series-doc で入手できる『*Cisco UCS C-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。

その他のマニュアル リソース

B シリーズと C シリーズのすべてのドキュメントが格納された ISO ファイルは、次の URL から入手できます。http://www.cisco.com/cisco/software/type.html?mdfid=283853163&flowid=25821 このページで、[Unified Computing System (UCS) Documentation Roadmap Bundle] をクリックします。

ISO ファイルは、ドキュメントのメジャー リリースの後に更新されます。

ドキュメントの更新通知を受け取るには、Cisco UCS Docs on Twitter をフォローしてください。

マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、HTML ドキュメント内のフィードバック フォームよりご連絡ください。mailto:ucs-docfeedback@cisco.com ご協力をよろしくお願いいたします。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカルサポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

ドキュメントの更新通知を受け取るには、Cisco UCS Docs on Twitter をフォローしてください。

第 1 章

Syslog メッセージの概要

この章は、次の項で構成されています。

- Syslog Messages, 1 ページ
- Cisco UCS Manager メッセージの重大度の用語とコード, 2 ページ
- Cisco UCS Manager障害の種類, 3 ページ
- Syslog メッセージの例と形式, 5 ページ

Syslog Messages

Cisco UCS Manager ではシステム ログ、つまり Syslog のメッセージが、Cisco UCS Manager システムで発生する次のインシデントを記録するために生成されます。

- 定期的なシステム操作
- 障害およびエラー
- 重大なおよび緊急な事態

Syslog エントリには次の 3 種類があります.

- 障害
- イベント
- 監査ログ

各 syslog メッセージは、メッセージを生成した Cisco UCS Manager プロセスを特定し、発生したエラーまたはアクションの簡単な説明が提供されします。

Cisco UCS Manager メッセージの重大度の用語とコード

Cisco UCS Manager では重大度の用語を使用して各ログエントリにラベル付けします。 次の表は、UCS Manager の重大度用語ラベルと Cisco UCS Manager リリース 1.4 以降で Syslog に表示される重要度用語ラベルを比較しています。

表 *1*：重大度の用語

Cisco UCS Manager 重大度	Syslog レベル、リリース 1.4 以降
info	info
warning	notification
minor	warnings
major	error
crtical	critical

Cisco UCS Manager メッセージの重大度コードと説明を次の表に示します。 重大度コードは Syslog メッセージをモニタするためのフィルタを作成するために使用できます。

表 *2*：重要度コード

コード	重大度	キーワード	説明
0	Emergency	emerg（panic）	緊急メッセージは、システムが使用できないことを示します。 パニック状態は通常、複数のアプリケーション、サーバ、またはサイトに影響します。 緊急メッセージは、待機中のすべての技術スタッフ メンバーに通知するように設定できます。
1	Alert	alert	アラート メッセージはすぐに対処が必要があることを示し、問題を修復できるスタッフ メンバーに通知する必要があります。 アラート メッセージの例は、プライマリ ISP 接続の喪失です。
2	Critical	crit	クリティカル メッセージはすぐに修正する必要があることを示し、またセカンダリ システムの障害も示します。 クリティカルメッセージの例は、バックアップ ISP 接続の喪失です。

コード	重大度	キーワード	説明
3	Error	err	エラー メッセージは、緊急ではない障害を示します。 エラー メッセージは、開発者またはネットワーク管理者に伝えられる必要があり、特定の期間内に解決する必要があります。
4	Warning	Warning（warning）	警告メッセージは、たとえばファイル システムが 85% まで満杯であるというように、対処がなされなければ障害が発生することを示します。 警告の障害も、特定の期間内に解決する必要があります。
5	Notice	notice	通知メッセージは通常の状態ではないがエラー状態がないイベントを示します。 これらは、潜在的な問題を特定するために開発者や管理者に電子メールでまとめを送ることができますが、ただちに対処は必要ではありません。
6	Informational	info	情報メッセージは、通常のオペレーションの実行に関連付けられます。 これらは、レポート、スループットの測定、またはその他の目的のために追跡されることがありますが、アクションは必要ではありません。
7	Debug	debug	デバッグ メッセージは、開発者がアプリケーションをデバッグするために便利ですが、操作を追跡するには有効ではありません。

Cisco UCS Manager障害の種類

次の表で、Cisco UCS Managerで使用可能な障害の種類およびモニタリング目的での可用性を定義します。

表 *3*：エラーのタイプ*Cisco UCS Manager*

タイプ	説明	モニタリング
FSM	FSM タスクが正常に完了しなかったか、Cisco UCS Manager が FSM の段階の 1 つを再試行しています。	これらの障害は、リモート Syslog または SNMP 通知には適しません。

タイプ	説明	モニタリング
機器	Cisco UCS Manager は、物理コンポーネントが動作不能であるか、別の機能的な問題があることを検出しました。	これらの障害はサービス要員によるモニタリングが必須です。
サーバ	サービス プロファイルをサーバに関連付けるなど、 Cisco UCS Manager でサーバのタスクを実行できません。	これらの障害はサーバのプロビジョニングまたはサービスプロファイルのアソシエーションの間に発生します。
設定	Cisco UCS Manager は正常にコンポーネントを設定することはありません。	これらの障害はサービス要員によるモニタリングが必須です。
環境	Cisco UCS Manager が、電力問題、熱問題、電圧問題、CMOS 設定の喪失を検出しました。	これらの障害はサービス要員によるモニタリングが必須です。
管理	Cisco UCS Manager が次のような重大な管理上の問題を検出しました。 • 重要なサービスを開始できません。 • プライマリ スイッチは識別できません。 • ソフトウェア サービスが応答不能になりました。 • インスタンスのコンポーネントに互換性のないファームウェア バージョンが含まれている。	これらの障害はサービス要員によるモニタリングが必須です。
接続性	Cisco UCS Manager が到達不能なアダプタなどの接続の問題を検出しました。	これらの障害はサービス要員によるモニタリングが必須です。
ネットワーク	Cisco UCS Manager がリンク ダウンなどのネットワーク問題を検出しました。	これらの障害はサービス要員によるモニタリングが必須です。

タイプ	説明	モニタリング
動作中	Cisco UCS Manager が次のような運用上の問題を検出しました。 • ログ データの保存量が最大容量に到達しました。 • ファイルを転送できません。 • サーバ ディスカバリが失敗しました。	これらの障害はリモートモニタリングでは重要な価値はありません。

Syslog メッセージの例と形式

次の文字列は、一般Cisco UCS Manager Manager の Syslog メッセージの例です。

Apr 19 17:11:12 UTC: %UCSM-6-LOG_CAPACITY: [F0461][info][log-capacity][sys/chassis-1/blade-7/mgmt/log-SEL-0] Log capacity on Management Controller on server 1/7 is very-low

次の表に、Syslog メッセージの各部分を列挙し、各部分の定義を示します。

syslog メッセージ	メッセージ部分	定義
Apr 19 17:11:12 UTC	日時	日付と時間が UTC 形式で表示され、イベントまたはエラーが発生した日時を示します。
%UCSM	ファシリティ	メッセージの発信元を参照します。 メッセージの発信元は通常ハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェアのモジュールです。 （注） ファシリティは、Cisco 専用で、メッセージ文字列にのみ関連します。 これは、Syslogプロトコルに対する RFC 3164 で定義されているファシリティとは異なります。 Cisco UCS Manager で生成されたメッセージに対しては、ファシリティは %UCSM となります。
6	重大度	Syslog 重大度コードを参照します。
LOG_CAPACITY	ニーモニック	メッセージを識別するデバイス固有のコードであり、Cisco UCS Manager の障害の種類にマッピングされます。
[F0461]	ID	障害に割り当てられた固有識別情報。
[info]	UCSM の重大度	この例では、基本的な通知または情報メッセージで、単独では重要ではありません。

syslog メッセージ	メッセージ部分	定義
[log-capacity]	ニーモニック	メッセージを識別するデバイス固有のコードであり、Cisco UCS Manager の障害の種類にマッピングされます。
[sys/chassis-1/blade-7/mgmt/log-SEL-0]	システム	障害が発生した特定の Cisco UCS デバイス。
サーバ 1/7 の管理コントローラのログ容量が非常に少ない	説明	障害の簡潔な説明。

（注） Cisco UCS Manager の障害の詳細については、http://www.cisco.com/en/US/docs/unified_computing/ucs/ts/faults/reference/2.0/UCSFaultsErrorsRef_20.htmlを参照してください。

Cisco UCS Manager 障害の Syslog メッセージ

障害は、異常な状態または障害に繋がる可能性のあるコンポーネント、機器、またはサブシステム レベルの欠陥です。 障害は重大度で分類され、Syslogエントリのメッセージ部分には障害の重要度を理解できるテキストが含まれます。 また、障害はSNMPを使用しても管理できます。 SNMPを使用した障害の管理の詳細については、http://www.cisco.com/en/US/docs/unified_computing/ucs/sw/mib/b-series/b_UCS_MIBRef.htmlを参照してください。

次に、障害イベントによって生成される Syslog メッセージの例をいくつか示します。

- 2011 Apr 19 17:11:12 UTC: %UCSM-6-LOG_CAPACITY: [F0461][info][log-capacity][sys/chassis-1/blade-7/mgmt/log-SEL-0] Log capacity on Management Controller on server 1/7 is very-low
- 2011 Apr 20 14:33:14 UTC: %UCSM-3-CONFIGURATION_FAILURE: [F0327][major][configuration-failure][org-root/ls-test] Service profile test configuration failed due to insufficient-resources,mac-address-assignment,system-uuid-as
- 2011 Apr 20 20:50:25 UTC: %UCSM-3-THERMAL_PROBLEM: [F0382][major][thermal-problem][sys/chassis-1/fan-module-1-1] Fan module 1/1-1 temperature: lower-critical
- 2011 Apr 20 14:33:14 UTC: %UCSM-5-UNASSOCIATED: [F0334][warning][unassociated][org-root/ls-test] Service profile test is not associated

Cisco UCS Manager イベントの Syslog メッセージ

イベント メッセージは、FSM が 1 つのステートから別のステートに遷移したときに生成されます。 イベント メッセージはすべての FSM の遷移を通知します。ユーザが FSM ステートを更新するプロセスを呼び出すときは特定のユーザに関する情報を含む場合があります。

（注） すべての FSM イベント メッセージは Syslog の情報セキュリティ レベル付きで配信されます。

次に、システム イベントによって生成される Syslog メッセージの例をいくつか示します。

- 2011 Apr 22 16:53:18 UTC: %UCSM-6-EVENT: [E4195931][456249][transition][ucs-username\username][] [FSM:BEGIN]: Hard-reset server sys/chassis-1/blade-7(FSM:sam:dme:ComputePhysicalHardreset)
- 2011 Apr 22 16:53:18 UTC: %UCSM-6-EVENT: [E4195931][456250][transition][ucs-username\username][] [FSM:STAGE:END]:(FSM-STAGE:sam:dme:ComputePhysicalHardreset:begin)
- 2011 Apr 22 16:53:18 UTC: %UCSM-6-EVENT: [E4195932][456251][transition][ucs-username\username][] [FSM:STAGE:ASYNC]: Preparing to check hardware configuration server sys/chassis-1/blade-7(FSM-STAGE:sam:dme:ComputePhysicalHa
- 2011 Apr 22 16:53:23 UTC: %UCSM-6-EVENT: [E4195932][456252][transition][internal][] [FSM:STAGE:STALE-SUCCESS]: Preparing to check hardware configuration server sys/chassis-1/blade-7(FSM-STAGE:sam:dme:ComputePhysicalHardres
- 2011 Apr 22 16:53:23 UTC: %UCSM-6-EVENT: [E4195932][456253][transition][internal][] [FSM:STAGE:END]: Preparing to check hardware configuration server sys/chassis-1/blade-7(FSM-STAGE:sam:dme:ComputePhysicalHardreset:PreSani
- 2011 Apr 25 18:27:01 UTC: %UCSM-6-EVENT: [E4196181][535831][transition][internal][] [FSM:END]: Hard-reset server sys/chassis-1/blade-7(FSM:sam:dme:ComputePhysicalHardreset)

Cisco UCS Manager 監査ログの Syslog メッセージ

監査ログ エントリーには、Cisco UCS Managerシステムで発生するアクティビティについての説明が記録されます。 これによって、何が、いつ、どこで（どの物理リソースで）起こって、誰が責任者なのかが特定されます。 監査ログ エントリーはシステム ユーザ開始されるアクションを追跡します。

（注） すべての監査ログ メッセージは、Syslog 内の情報セキュリティ レベルを使して配信されます。

次に、Syslog に記録されたシステム監査ログ メッセージの例をいくつか示します。

- 2011 May 15 10:19:14 UTC: %UCSM-6-AUDIT: [session][internal][creation][] Web B: remote user ibm logged in from 172.25.206.73

- 2011 Apr 22 16:53:18 UTC: %UCSM-6-AUDIT: [admin][ucs-username\username][modification][] server 1/7 power-cycle/reset action requested: hard-reset-immediate
- 2011 Apr 20 14:33:14 UTC: %UCSM-6-AUDIT: [admin][username][creation][] service profile test created
- 2011 Apr 20 14:33:14 UTC: %UCSM-6-AUDIT: [admin][username][creation][] service profile Power MO created
- 2011 Apr 20 14:33:14 UTC: %UCSM-6-AUDIT: [admin][username][creation][] Ether vnic eth1 created
- 2011 Apr 20 14:33:14 UTC: %UCSM-6-AUDIT: [admin][username][creation][] Ethernet interface created

第 2 章

Cisco UCS Manager の Syslog の設定

この章の内容は、次のとおりです。

- Syslog の設定，9 ページ
- Cisco UCS Manager の GUI を使用した Syslog の設定，9 ページ
- Cisco UCS Manager の CLI を使用した Syslog の設定，14 ページ

Syslog の設定

Cisco UCS Manager GUI および Cisco UCS Manager CLI の両方を使用して Cisco UCS Manager で Syslog を設定できます。

Cisco UCS Manager の GUI を使用した Syslog の設定

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
2. [Admin] タブで、[All] > [Faults]、[Events]、[Audit Log] を展開します。
3. [Syslog] をクリックします。
4. [Work] ペインで [Syslog] タブをクリックします。
5. [Local Destinations] 領域で、次のフィールドに値を入力します。
6. [Remote Destinations] 領域で、次のフィールドに情報を入力し、Cisco UCSコンポーネントにより生成されたメッセージを保存できる最大 3 つの外部ログを設定します。
7. [Local Sources] 領域で、次のフィールドに入力します。
8. [Save Changes] をクリックします。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。

ステップ 2 [Admin] タブで、[All] > [Faults]、[Events]、[Audit Log] を展開します。

ステップ 3 [Syslog] をクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで [Syslog] タブをクリックします。

ステップ 5 [Local Destinations] 領域で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Console] セクション	
[Administrative State] フィールド	Cisco UCS でコンソールに Syslog メッセージが表示されるかどうか。次のいずれかになります。 • [Enabled]：Syslog メッセージはコンソールに表示され、ログに追加されます。 • [Disabled]：Syslog メッセージはログに追加されますが、コンソールには表示されません。
[Level] フィールド	このオプションが [enabled] である場合、表示する最も低いメッセージ レベルを選択します。 Cisco UCS にはそのレベル以上のメッセージが表示されます。 次のいずれかになります。 • Emergencies • Alerts • Critical
[Monitor] セクション	
[Administrative State] フィールド	Cisco UCS でモニタに Syslog メッセージが表示されるかどうか。 次のいずれかになります。 • [Enabled]：Syslog メッセージはモニタに表示され、ログに追加されます。 • [Disabled]：Syslog メッセージはログに追加されますが、モニタには表示されません。 [Administrative State] が有効の場合は、Cisco UCS Manager GUI に、このセクションの残りのフィールドが表示されます。

名前	説明
[Level] ドロップダウン リスト	このオプションが [enabled] である場合、表示する最も低いメッセージ レベルを選択します。 モニタにはそのレベル以上のメッセージが表示されます。 次のいずれかになります。 • Emergencies • Alerts • Critical • Errors • Warnings • Notifications • Information • Debugging
[File] セクション	
[Administrative State] フィールド	Cisco UCS がファブリック インターコネクトでシステム ログ ファイルにメッセージを保存するかどうか。 次のいずれかになります。 • [Enabled]：メッセージはログ ファイルに保存されます。 • [Disabled]：メッセージは保存されません。 [Administrative State] が有効の場合は、Cisco UCS Manager GUI に、このセクションの残りのフィールドが表示されます。
[Level] ドロップダウン リスト	システムに保存するメッセージの最も低いレベルを選択します。 Cisco UCS は、ファブリック インターコネクトのファイル内に、そのレベル以上のメッセージを保存します。 次のいずれかになります。 • Emergencies • Alerts • Critical • Errors • Warnings • Notifications • Information • Debugging

名前	説明
[Name] フィールド	メッセージが記録されるファイルの名前。 名前には 16 文字以内の英数字を使用できます。 -（ハイフン）、_（アンダースコア）、:（コロン）、および（ピリオド）が使用できます。 デフォルトは messages です。
[Size] フィールド	ファイルの可能最大サイズ（バイト単位）。ファイルがこのサイズを超えると、Cisco UCS Manager によって最も古いメッセージから最新メッセージへの上書きが開始されます。 4096 ～ 4194304 の整数を入力します。

ステップ 6 [Remote Destinations] 領域で、次のフィールドに情報を入力し、Cisco UCSコンポーネントにより生成されたメッセージを保存できる最大 3 つの外部ログを設定します。

名前	説明
[Administrative State] フィールド	次のいずれかになります。 • [Enabled] • [Disabled] [Administrative State] が有効の場合は、Cisco UCS Manager GUI に、このセクションの残りのフィールドが表示されます。
[Level] ドロップダウン リスト	システムに保存するメッセージの最も低いレベルを選択します。 リモート ファイルにそのレベル以上のメッセージが保存されます。 次のいずれかになります。 • Emergencies • Alerts • Critical • Errors • Warnings • Notifications • Information • Debugging

名前	説明
[Hostname] フィールド	リモート ログ ファイルが存在するホスト名または IP アドレス。 （注） IPv4 または IPv6 アドレスではなくホスト名を使用する場合、 で DNS サーバを設定する必要があります。 Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていないか、DNS 管理が [ローカル] に設定されている場合は、Cisco UCS Manager で DNS サーバを設定します。 Cisco UCS ドメイン Cisco UCS Central に登録されていないか、DNS 管理が [グローバル] に設定されている場合は、Cisco UCS Central で DNS サーバを設定します。
[Facility] ドロップダウン リスト	これは、Syslog ファイルの送信先となるリモート サーバです。 特定の宛先に到達するために、特定のログ ファイルを設定できます。 次のいずれかになります。 • Local0 • Local1 • Local2 • Local3 • Local4 • Local5 • Local6 • Local7

ステップ 7 [Local Sources] 領域で、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Faults Admin State] フィールド	このフィールドが [Enabled] の場合、Cisco UCS はすべてのシステム障害をログに記録します。
[Audits Admin State] フィールド	このフィールドが [Enabled] の場合、Cisco UCS はすべての監査ログイベントをログに記録します。
[Events Admin State] フィールド	このフィールドが [Enabled] の場合、Cisco UCS はすべてのシステムイベントをログに記録します。

ステップ 8 [Save Changes] をクリックします。

Cisco UCS Manager の CLI を使用した Syslog の設定

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# **scope monitoring**	モニタリング モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /monitoring # {**enable** | **disable**} **syslog console**	コンソールへの Syslog の送信をイネーブルまたはディセーブルにします。
ステップ 3	UCS-A /monitoring # **set syslog console level** {**emergencies** | **alerts** | **critical**}	（任意） 表示するメッセージの最低レベルを選択します。 syslog がイネーブルの場合、システムはそのレベル以上のメッセージをコンソールに表示します。 レベル オプションは緊急性の降順で一覧表示されます。デフォルトのレベルは Critical です。
ステップ 4	UCS-A /monitoring # {**enable** | **disable**} **syslog monitor**	オペレーティング システムによる syslog 情報のモニタリングをイネーブルまたはディセーブルにします。
ステップ 5	UCS-A /monitoring # **set syslog monitor level** {**emergencies** | **alerts** | **critical** | **errors** | **warnings** | **notifications** | **information** | **debugging**}	（任意） 表示するメッセージの最低レベルを選択します。 モニタの状態がイネーブルの場合、システムはそのレベル以上のメッセージを表示します。 レベル オプションは緊急性の降順で一覧表示されます。デフォルトのレベルは Critical です。 （注） Critical より下のレベルのメッセージは、**terminal monitor** コマンドを入力した場合にのみ端末モニタに表示されます。
ステップ 6	UCS-A /monitoring # {**enable** | **disable**} **syslog file**	syslog ファイルへの syslog 情報の書き込みをイネーブルまたはディセーブルにします。
ステップ 7	UCS-A /monitoring # **set syslog file name** *filename*	メッセージが記録されるファイルの名前。 ファイル名は 16 文字まで入力できます。
ステップ 8	UCS-A /monitoring # **set syslog file level** {**emergencies** | **alerts** | **critical** | **errors** | **warnings** | **notifications** | **information** | **debugging**}	（任意） ファイルに保存するメッセージの最低レベルを選択します。 ファイルの状態がイネーブルの場合、システムはそのレベル以上のメッセージを syslog ファイルに保存します。 レベル オプションは緊急性の降順で一覧表示されます。デフォルトのレベルは Critical です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 9	UCS-A /monitoring # **set syslog file size** *filesize*	（任意） 最新のメッセージで最も古いものを上書きし始める前の、最大ファイル サイズ（バイト単位）。 有効な範囲は 4096 ～ 4194304 バイトです。
ステップ 10	UCS-A /monitoring # {**enable** | **disable**} **syslog remote-destination** {**server-1** | **server-2** | **server-3**}	最大 3 台の外部 syslog サーバへの syslog メッセージの送信をイネーブルまたはディセーブルにします。
ステップ 11	UCS-A /monitoring # **set syslog remote-destination** {**server-1** | **server-2** | **server-3**} **level**{**emergencies** | **alerts** | **critical** | **errors** | **warnings** | **notifications** | **information** | **debugging**}	（任意） 外部ログに保存するメッセージの最低レベルを選択します。remote-destination がイネーブルにされると、システムはそのレベル以上を外部サーバに送信します。 レベル オプションは緊急性の降順で一覧表示されます。デフォルトのレベルは Critical です。
ステップ 12	UCS-A /monitoring # **set syslog remote-destination** {**server-1** | **server-2** | **server-3**} **hostname** *hostname*	指定されたリモート Syslog サーバのホスト名または IP アドレス。 ホスト名は 256 文字まで入力できます。
ステップ 13	UCS-A /monitoring # **set syslog remote-destination** {**server-1** | **server-2** | **server-3**} **facility** {**local0** | **local1** | **local2** | **local3** | **local4** | **local5** | **local6** | **local7**}	（任意） 指定されたリモート syslog サーバに送信される syslog メッセージに含まれるファシリティ レベル。
ステップ 14	UCS-A /monitoring # {**enable** | **disable**} **syslog source** {**audits** | **events** | **faults**}	次のいずれかになります。 • [audits]：すべての監査ログ イベントのロギングをイネーブルまたはディセーブルにします。 • [events]：すべてのシステム イベントのロギングをイネーブルまたはディセーブルにします。 • [faults]：すべてのシステム エラーのロギングをイネーブルまたはディセーブルにします。
ステップ 15	UCS-A /monitoring # **commit-buffer**	トランザクションをコミットします。

次の例は、ローカル ファイルの syslog メッセージのストレージをイネーブルにし、トランザクションをコミットします。

```
UCS-A# scope monitoring
UCS-A /monitoring # disable syslog console
UCS-A /monitoring* # disable syslog monitor
UCS-A /monitoring* # enable syslog file
UCS-A /monitoring* # set syslog file name SysMsgsUCSA
UCS-A /monitoring* # set syslog file level notifications
UCS-A /monitoring* # set syslog file size 4194304
UCS-A /monitoring* # disable syslog remote-destination server-1
```

```
UCS-A /monitoring* # disable syslog remote-destination server-2
UCS-A /monitoring* # disable syslog remote-destination server-3
UCS-A /monitoring* # commit-buffer
UCS-A /monitoring #
```

第 3 章

Cisco UCS Manager の Syslog メッセージのモニタリング

この章の内容は、次のとおりです。

- Syslog メッセージのモニタ，17 ページ
- モニタのための Syslog メッセージ，17 ページ

Syslog メッセージのモニタ

Syslog メッセージには、イベント コードおよび障害コードが含まれています。 Syslog メッセージをモニタするために、Syslog メッセージフィルタを定義できます。 フィルタは、選択した基準に基づいて Syslog メッセージを解析できます。 フィルタを定義するために、次の条件を使用できます。

- **イベント** コード別または**障害**コード別：モニタする特定のコードだけを含めるための解析ルールを使ったフィルタを定義します。 これらの条件に一致しないメッセージはすべて廃棄されます。
- **重大度**別：特定の重大度を持つ Syslog メッセージをモニタするための解析ルールを使ったフィルタを定義します。

詳細については、Cisco UCS Manager メッセージの重大度の用語とコード，（2 ページ）を参照してください。

モニタのための Syslog メッセージ

次の表に、Cisco UCS Managerでモニタする可能性のある Syslog メッセージをいくつか示します。

障害	障害の種類	障害コードと説明
DIMM の問題	機器	F0185 - DIMM [id]/[id] on server [chassisId]/[slotId] operability: [operability]
機器の障害	機器	F0291 - Fabric Interconnect [id] operability: [operability] F0313 - Server [chassisId]/[slotId] (service profile: [assignedToDn]) BIOS failed power-on self test F0317 - Server [chassisId]/[slotId] (service profile: [assignedToDn]) health: [operability] F0373 - Fan [id] in Fan Module [id]/[tray]-[id] operability: [operability]Fan [id] in fabric interconnect [id] operability: [operability]Fan [id] in fex [id] operability: [operability]Fan [id] in server [id] operability: [operability] F0374 - Power supply [id] in chassis [id] operability: [operability]Power supply [id] in fabric interconnect [id] operability: [operability]Power supply [id] in fex [id] operability: [operability]Power supply [id] in server [id] operability: [operability] F0376 - [side] IOM [chassisId]/[id] ([switchId]) is removed F0404 - Chassis [id] has a mismatch between FRU identity reported by Fabric/IOM vs. FRU identity reported by CMC F0405 - [side] IOM [chassisId]/[id] ([switchId]) has a malformed FRU F0478 - [side] IOM [chassisId]/[id] ([switchId]) is inaccessible F0481 - [side] IOM [chassisId]/[id] ([switchId]) POST failure F0484 - Fan [id] in Fan Module [id]/[tray]-[id] speed: [perf]Fan [id] in fabric interconnect [id] speed: [perf]Fan [id] in server [id] speed: [perf]

障害	障害の種類	障害コードと説明
温度の問題	環境	F0176/F0177 - Processor [id] on server [chassisId]/[slotId] temperature: [thermal] F0187/F0188 - DIMM [id]/[id] on server [chassisId]/[slotId] temperature: [thermal] F0312/F0313 - Server [chassisId]/[slotId] (service profile: [assignedToDn]) oper state: [operState] F0379 - [side] IOM [chassisId]/[id] ([switchId]) operState: [operState] F0382/F0384 - Fan module [id]/[tray]-[id] temperature: [thermal]Fan module [id]/[tray]-[id] temperature: [thermal] F0383/F0385 - Power supply [id] in chassis [id] temperature: [thermal]Power supply [id] in fabric interconnect [id] temperature:thermal]Power supply [id] in server [id] temperature: [thermal] F0409/F0411 - Temperature on chassis [id] is [thermal] F0539/F0540 - IO Hub on server [chassisId]/[slotId] temperature: [thermal]
電圧の問題	環境	F0179/F0180 - Processor [id] on server [chassisId]/[slotId] voltage: [voltage] F0190/F0191 - Memory array [id] on server [chassisId]/[slotId] voltage: [voltage] F0389/F0391 - Power supply [id] in chassis [id] voltage: [voltage]Power supply [id] in fabric interconnect [id] voltage: [voltage]Power supply [id] in fex [id] voltage: [voltage]Power supply [id] in server [id] voltage: [voltage] F0425 - Possible loss of CMOS settings: CMOS battery voltage on server [chassisId]/[slotId] is [cmosVoltage]
電源に関する問題	環境	F0310 - Motherboard of server [chassisId]/[slotId] (service profile: [assignedToDn]) power: [operPower] F0311 - Server [chassisId]/[slotId] (service profile: [assignedToDn]) oper state: [operState] F0369 - Power supply [id] in chassis [id] power: [power]Power supply [id] in fabric interconnect [id] power: [power]Power supply [id] in fex [id] power: [power]Power supply [id] in server [id] power: [power] F0408 - Power state on chassis [id] is [power]

障害	障害の種類	障害コードと説明
HA クラスタの障害	管理	F0293 - Fabric Interconnect [id], HA Cluster interconnect link failure F0294 - Fabric Interconnect [id], HA Cluster interconnect total link failure F0428 - Fabric Interconnect [id], election of primary managemt instance has failed F0429 - Fabric Interconnect [id], HA functionality not ready F0430 - Fabric Interconnect [id], management services, incompatible versions F0451 - Fabric Interconnect [id], management services have failed F0452 - Fabric Interconnect [id], management services are unresponsive
リンク障害	接続性	F0276 - [transport] port [portId] on chassis [id] oper state: [operState], reason: [stateQual][transport] port [portId] on fabric interconnect [id] oper state: [operState], reason: [stateQual] F0277 - [transport] port [portId] on chassis [id] oper state: [operState], reason: [stateQual][transport] port [portId] on fabric interconnect [id] oper state: [operState], reason: [stateQual] F0367 - No link between IOM port [chassisId]/[slotId]/[portId] and fabric interconnect [switchId]:[peerSlotId]/[peerPortId]